

清流祭 閉祭式

昨日の開祭式で、1人1人のもつそれぞれの輝きが大切にされ、交わり、つながり合い、この小海中でしか見られない大きな太陽となってさらに大きく輝くこと、そして「サンキュー!」「ありがとう!」の声がいろいろな場面で輝くことを願いとして話しました。この2日間、みなさんの輝く姿、「感動」「充実感」いっぱいの素晴らしい清流祭でした。

次の2つのことを話したいと思います。それは「表現し、伝える」と「つながりを楽しむ」の2点です。

「表現し、伝える」は意見文・英語弁論・学年発表・生徒会企画・展示発表がそれにあたります。

意見文・英語弁論では、「友だちとのつながり・家族のつながり・多様な社会とのつながり・社会の中での自分の責任と挑戦」というように様々なテーマについて語られました。特に英語弁論では、聴いている相手、伝えたい人を意識した目線や表情、話し方などが参考になったと思います。

学年発表もみなさんが取り組んだ行事や活動の様子、そして各学年の協力やまとまりがよくわかるものだったと思います。

さらに生徒会企画では、グループでの対話活動をもとに思いや考えを共有しました。会場全体を巻き込んで、「伝える」から「伝え合う」に進化した取組だったと思います。「よさを守って、さらに新しいよさを見つけていこう」という投げかけに1人1人が応えていきたいですね。

ステージバックをはじめとする全ての展示物・掲示物等は、これまでのみなさんが学習や生徒会活動、清流の時間等を通して学んできた学習の成果がよく表れていました。

これらの「表現し、伝える」は、みなさんに次のような問いを投げかけています。それは「あなたはどう思う?」「あなたはどう考える?」という問いです。そこからさらに相手を意識した「伝え合い」「語り合い」が始まります。これからの学習の中でも大切にしながら心を豊かにしたいと願っています。

「つながりを楽しむ」は全校レク・体育祭・音楽祭がそれにあたります。

全校レク・体育祭では、クラスで、そしてクラスだけでなく学年を超えて応援したり励まし合ったりして挑戦する姿は本当に素晴らしかったです。

全校、各学年、各クラスの合唱では、みなさんの姿や歌声に心を動かされました。特に3年生の姿は、仲間と共に心を合わせて精一杯一生懸命に歌うことの素晴らしさ、「つながり合う」というめざすべきものを全校に示してくれました。

吹奏楽部は3年生部員にとっては最後のステージでした。1曲1曲に思いを込めた演奏は練習に励み仲間と友によりよい音色を追究してきたことがよく伝わってきました。本当にお疲れ様でした。

この2日間を通して、私が強く感じたことは、みんなの願いや目標を達成するには、1人の力や努力だけではできないということです。多くの仲間の協力・支え・励ましがあって、そして地道な1日1日の積み重ねがあって、はじめて達成に近づいていくのだということです。今、感染症の拡大をきっかけに、学校の活動が問われています。私は、1人1人の努力の積み重ねが仲間同士の協力につながり、そして1人1人みんなが成長する、そういう活動が保障されることに学校の意味があると思っています。

最後に、ここまで中心となって活動を進めてくれた新津生徒会長、篠原実行委員長をはじめとする生徒会役員のみなさん、お疲れ様でした。「太陽」をめざし、「みんながつながり、ひとつの輝きに」を具現化するために、これまでの生徒集会やこの清流祭でも「対話する」機会をたくさんつくってきてくれました。ぜひ今後も継続して行ってください。

また、その思いを共有し、同じ目標に向かって協力して取り組んだ全校生徒のみなさん、本当にすばらしい姿でした。その陰には先生方をはじめ多くの方々の支えがあったことも忘れないでください。

終わりにになりましたが、地域の皆様、そして常日頃からあたたかく支えてくださっているご家族、保護者の皆様に心から感謝申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。